

令和6年度数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム実施状況

学部	学科・課程	1年次 学生数	授業科目	単位 数	講義 番号	開講 学期	受講 者数	単位修得者 数	単位 修得率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
										第1ターム		第2ターム		第3ターム		第4ターム					
教養学部	教養学科	175	データサイエンス 入門	1	F00301	第3	191	177	92.7%							金2					
			情報基礎	2	F00300	第1・2	193	178	92.2%	金2											
経済学部	経済学科 (昼間コース)	307	データサイエンス 入門	1	A01701 A01702	第3 第4	178 187	154 165	86.5% 88.2%							金1		金1			
			経済情報リテラシー	2	A01601	第1・2	100	81	81.0%	月1											
					A01602	第1・2	100	91	91.0%	月2											
					A01603	第1・2	107	99	92.5%	月3											
					A01604	第3・4	49	35	71.4%							金2					
教育学部	全課程	395	情報基礎	2	Y70001	第1・2	131	116	88.5%	木1											
					Y70002	第1・2	92	88	95.7%	木1											
					Y70013	第3・4	126	114	90.5%							木1					
					Y70014	第3・4	102	100	98.0%							木1					
理学部	全学科	237	数理データサイエンス 基礎	2	R19400	第1・2	92	83	90.2%	水2											
					R19410	第3・4	60	51	85.0%							水3					
					R19420	第3・4	96	93	96.9%							水1					
工学部	全学科	507	理工学と現代社会	2	RT9001-1 RT9001-2	第1・2 第1・2	290 251	266 225	91.7% 89.6%	金3											
	全学科		工学入門セミナー	2	T80000	第3・4	524	490	93.5%							月3～5					
	機械工学・システム デザイン学科	422	情報基礎	2	TX67109	第2	127	120	94.5%				月4・5								
	電気電子物理工 学科				TX67110	第1	131	113	86.3%	火5・木5											
	応用化学科				TX67112	第1・2	93	88	94.6%	金4											
	環境社会デザイ ン学科				TX67114	第1・2	104	100	96.2%	金2											
	情報工学科	85	情報システム工学 入門	2	T73010	第3・4	91	83	91.2%							金5					
			情報倫理	2	T73300	第3・4	91	86	94.5%							火5					

埼玉大学

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和 5 年度

②大学等全体の男女別学生数 男性 4397 人 女性 2274 人 (合計 6671 人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学 定員	収容 定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数 合計	修了者数 合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数			
教養学部	802	160	700	191	172	167	149									342	321	49%
経済学部（昼間コース）	1,349	280	1,140	337	296	285	247									592	543	52%
教育学部	1,622	380	1,520	407	393	394	364									786	757	52%
理学部	930	210	840	242	223	215	195									444	418	53%
工学部	2,140	490	1,960	525	471	500	452									996	923	51%
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
合 計	6,843	1,520	6,160	1,702	1,555	1,561	1,407	0	0	0	0	0	0	0	0	3,160		51%

※令和6年度の履修者数及び修了者数は過年度入学者で再履修の者を含めた数

※履修者数合計は、再履修者を除いた数

令和 6 年度 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム 授業評価アンケート
の確認

1. 調査概要

実施期間	第 1 ターム：令和 6 年 5 月 22 日（水）～6 月 11 日（火） 第 2 ターム：令和 6 年 7 月 17 日（水）～8 月 6 日（火） 第 3 ターム：令和 7 年 11 月 1 日（金）～11 月 21 日（木） 第 4 ターム：令和 7 年 1 月 20 日（月）～2 月 9 日（日）
調査対象科目数	講義・演習 24 科目
アンケート種別	① 講義・演習用、②講義・演習用(教育学部)

2. 開講区分別回収率

開講区分	対象科目数	履修者数（※1）	回答者数	解答率
DS 教育プログラム合計	24	3506	1394	44%
全体平均(※2)	-	-	-	35%

※1: 累計

※2: 経済学部（夜間主コース）を含まず

3. 科目ごとの回答平均値

設問：
Q10. 教員は、授業への学生の参加（質問、発言）を促し、あなたの質問に対して、あなたが分かるように答えましたか。オンデマンド授業の場合には、メールなどによる質問に対して、教員はあなたが分かるように答えましたか。
Q11. この授業は、あなたの思考力を養うため、あるいは専門知識を高めるうえで役立ちましたか？
Q12. 授業は、上記の項目も含め総合的に判断して、満足できるものでしたか。

開講区分	Q10	Q11	Q12
DS 教育プログラム平均	4.35	4.36	4.22
全体平均(※1)	4.52	4.54	4.51

※1：全体平均は実験科目を除いた数値

4. 自由記述の要約

以下、Q16, 17 を機械要約した結果を記載する。

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
教養学部	データサイエンス入門	- Excel や生成 AI を活用した演習が実践的で、使い方や問題点を理解できた。 - データサイエンスや AI の基礎について学び、今後の活用に役立つ知見を得られた。	- スライドの解説が不十分な日があり、授業内で全て説明してほしい。 - 読むだけでは理解しづらく、特に計算問題などは詳しい解説が必要。
	情報基礎	- Word、Excel、PowerPoint の基礎を学び、操作に慣れることができた。 - 質問の時間や演習を通じて、実践的に理解を深めることができた。	- 課題が多く難しいものもあり、出席確認課題の負担も大きい。理解しやすい説明や質問対応の充実を求める。 - 授業資料に作業内容を明記し、常にダウンロード可能にしてほしい。スライドの文字や教員の声が聞き取りづらい点も改善を希望。
教育学部	情報基礎	- Excel や AI などの情報技術の基礎を学び、実践的な知識を身につけることができた。 - 授業の説明が分かりやすく、情報社会や ICT の活用について深く理解できた。	- 遅刻や連絡不足、授業内での説明不足が混乱を招いている。講義方法を工夫し、適切な評価やサポートを求める。 - スライドの量や印刷の負担、エアコンの管理、資料の配布方法など、学習環境を整えてほしい。
経済学部 (昼間コース)	データサイエンス入門	- Excel の使い方やデータの扱い方を実習を通して学ぶことができた。 - データサイエンスの基本や現代社会での活用法について理解を深めることができた。	- 声が小さい、出席確認が不公平などの問題を改善してほしい。 - 論文形式のクイズ導入や、受講時期の調整を検討してほしい。
	経済情報リテラシー	レポートや論文の正しい書き方や情報収集の方法を学ぶこ	授業のペースが速く、指示が分かりにくい。教授や

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
		とができた。 Word や Excel などの基本的なパソコンスキルを習得し、大学生活に役立つ知識を得られた。	TA の指示が矛盾し、混乱を招いているため、統一してほしい。 早口や不適切な対応で理解が難しくなる場面がある。マイクの調整や紙の節約など、環境面の配慮も求められる。
理学部	数理データサイエンス基礎	- Python や Excel の基礎的な使い方やプログラミングの基本を学ぶことができた。 - 実習を通して自分で課題を解決する力がつき、プログラミングへのハードルが下がった。	- 初学者向けの Python の説明が不足しており、専門用語やプログラムの使い方が分かりにくかった。授業内での解説を増やし、段階的に理解できるようにしてほしい。 - 説明不足のまま課題が出され、減点基準も厳しすぎるため、具体例を示すなどして分かりやすくしてほしい。
工学部	理工学と現代社会	- 自分の専門分野以外の理工学分野について幅広く学ぶことができ、知見を広げる良い機会となった。 - 各分野の専門的な知識や研究内容を知ること、将来の学習や研究の方向性を考える参考になった。	- 分量が多く、大変なので減らしてほしい。評価基準や書き方の説明も欲しい。 - 内容が難しく、指示が不明瞭なことがある。資料を事前に公開し、説明を分かりやすくしてほしい。
	工学入門セミナー	- 他学科の実験や講義を通して、工学の幅広い分野に触れ、知見を広げることができた。 - 他学科の学生と交流する機会があり、工学部全体の学びへの理解が深まった。	- 課題や授業時間の差が大きすぎるため、負担を均一にしてほしい。レポートのヒントや解説も増やしてほしい。 - レポート提出や出席方法を統一し、WebClass に必要

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
			な情報をしっかり掲載してほしい。
	情報基礎	- Word、Excel、PowerPointなどの基本的な使い方を学び、実践を通してスキルを身につけることができた。 - Python や統計、情報技術の基礎を学び、プログラミングやデータ処理の理解を深めることができた。	- 授業時間を適切に調整し、分かりやすく進めてほしい。課題の条件や指示を明確にし、適切なヒントを提供してほしい。 - スライドの文字を大きくする、PC の配置を見直す、空調を適切に管理するなど、快適に受講できる環境を整えてほしい。
	情報システム工学入門	- 幅広い分野に触れ、情報工学の多様な側面を学ぶことができた。 - 今学んでいることが将来どのようなにつながるのかをイメージできるようになった	- 資料や小テストの解答を早めに公開してほしい。 - 資料公開時間を統一し、レポートの点数も確認できるようにしてほしい。
	情報倫理	- 情報倫理について具体例を通じて理解を深めることができた。 - 講師を招いた授業や警察組織の話が興味深く、視野が広がった。	スライド資料がウェブクラスにあるため、プリント配布は不要だと思う。

5. 点検・評価結果

5-1. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本項目は、「Q10. 教員が授業への参加を促したか、質問に分かるように回答してくれたか」、「Q11. 思考力涵養・専門知識向上に役立ったか」の回答をもって点検・評価を行う。概ね、平均値が4（ある程度あった）以上となっており、各科目、教員が授業への参加を促し、質問に分かるように回答していること、思考力涵養・専門知識向上に役立っていると評価できる。

一方で、数理データサイエンス基礎（理学部）については、4を下回る結果となっている。自由記述での「Q17. 改善して欲しい事項」として、数理データサイエンス基礎（理学部）

については、課題に取り組むための基礎知識（Python プログラミングや Excel）についての説明が不十分なまま演習課題を出題されることへの改善を求める声が多い。科目そのものの意義について問題視するのではなく、授業運用に関する改善で対応可能な範囲の指摘となっている。また、数理データサイエンス基礎（理学部）は昨年度も同様の指摘がなされており、Q10 の平均点は 3.60 から 3.96 に改善されたものの、未だ十分とは言えず次年度に向けてはこれらをさらに改善していくこととする。

5-2. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本項目は、「Q12. 総合的な満足度」の回答を持って点検・評価を行う。殆どの科目が、中期計画内「教育に関する目標を達成するための措置」【2-1-①】「授業評価アンケート：総合評価項目の平均値を 4.45 以上」を下回る結果となっている。ただし、概ね「4 ある程度満足できる」を上回る平均 4 以上の値となっており、総合的な満足は得られていると評価できる。

情報基礎（教育学部）については同項目の昨年度値 2.80 から今年度値 4.44 となっており、十分に改善したといえる。数理データサイエンス基礎（理学部）については、昨年度値 3.14 から今年度値 3.54 となり、改善がみられたが未だ十分とは言えない状況となっている。

一方で経済情報リテラシー（経済学部）は昨年度値 4.22 が今年度値 3.98 となり評価が下がってしまった。「Q17.改善してほしい点」において昨年度は授業進行をスムーズにしてほしいとの意見があったが、今年度では授業のペースが速いという意見も出ており、受講者に合わせた進行が求められているとも考えられる。

数理データサイエンス基礎（理学部）および経済情報リテラシー（経済学部）については平均 4 を下回るため、5-1 で述べた通り授業の運用について各担当にて見直していただくことで、教育プログラムの改善としていきたい。

6. まとめ

授業評価アンケートの回答から、データサイエンス教育プログラムの点検・評価を行い、改善点について抽出を行った。今後、各担当にて改善点について対処を行い、継続して点検・評価を行っていく。